

石川県立白山青年の家及び石川県立白山ろく少年自然の家の平成22年度管理状況

施設所管課	教育委員会事務局生涯学習課
指定管理者	財団法人白山市地域振興公社 代表者 理事長 永井 隆一
指定期間	平成20年4月1日～平成23年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の提供に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 ・職員接遇研修会 職員の資質向上 ・石川県青少年教育施設協議会資質向上研修会 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用者アンケートの実施
利用の促進に関する業務	公社所有施設との連携した自主事業の開催 施設の情報提供、広報、広告 ・ホームページの内容の充実 体験活動プログラムの充実
使用の承認に関する業務	使用承認、使用料の徴収、納入 ・使用承認の件数（（2）②参照） ・使用料の収入実績（（3）参照）
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	施設管理、消防設備管理、電気工作物管理、危険物貯蔵施設点検、浴室等管理、昇降機管理、構内管理、衛生管理、清掃管理、廃棄物収集運搬、その他設備保守
（その他知事が必要と認める業務）	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・緊急時の職員連絡体制・配置体制、対応計画の作成 個人情報管理状況 ・職員全員に周知し、適正に管理

(2) 施設の利用状況

①利用指標

	指標	H21年度 (参考)	H22年度	前年度比	増減理由
白山青年の家	総利用者数（人）	22,036	21,217	96.3%	宿泊利用団体のキャンセルが影響
白山ろく少年自然の家	総利用者数（人）	16,111	18,894	117.3%	夏季及び冬季における学校利用が増加

②使用承認等の状況

施設名	承認件数	
白山青年の家	281	使用承認の取り消し及び使用の制限はなし
白山ろく少年自然の家	186	//

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

施設名		収入額	減免額	減免理由
年の白山青年の家	宿泊料	4,974 千円	—	
	食事料	13,384 千円	—	
	冷暖房料	671 千円	—	
年白山ろく少年自然の家	食事料	14,477 千円	—	
	寝具料	1,599 千円	—	
	暖房料	293 千円	—	
	スキー用具料	471 千円	—	

(4) 収支決算

(千円)

収入			支出		
白山青年の家	管理料	37,407	白山青年の家	人件費	28,361
	利用料収入	19,029		光熱水費	7,305
	その他	4,092		修繕費	606
				設備保守	2,541
				食材費	8,922
				その他	13,266
	小計	60,528		小計	61,001
白山ろく少年自然の家	管理料	30,096	白山ろく少年自然の家	人件費	19,493
	利用料収入	16,840		光熱水費	4,027
	その他	3,204		修繕費	1,369
				設備保守	1,407
				食材費	9,190
				その他	12,836
	小計	50,140		小計	48,322
合計	110,668	合計	109,323		
収支差額	1,345				

※2施設あわせて指定している。(管理料も合算して支払っている。)

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果（通年実施 有効回答数 白山青年の家 217件・白山ろく少年自然の家 118件）

施設名	項目	回答			
		良い	概ね良い	やや悪い	悪い
白山青年の家	利用者サービス	70.5%	29.5%	0%	0%
	施設の維持管理	63.6%	35.9%	0%	0.5%
白山ろく少年自然の家	利用者サービス	55.1%	44.1%	0.8%	0%
	施設の維持管理	26.3%	66.1%	7.6%	0%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成 22 年	(白青)オリエンテーション時は、利用者の実態にあわせた説明の仕方をしてほしい。	写真を用いるなど、わかりやすい説明を心がけた
	(白青)清潔感があり、とても使いやすい。職員も親切で適切な対応だった。	
	(白山ろく)網戸がない部屋があり、部屋が暑くなるので全部屋の網戸は必要。	網戸の外れやすい箇所があったため、固定するようにして設置した。
	(白山ろく)事前の出前授業で、子どもたちの合宿への期待が高まった。	

②事故、故障等

年月	内容	対応
平成 22 年 9 月	(白青)厨房シャッター故障	修理
平成 23 年 1 月	(白青)3階屋上 室外機給油管破損	修理
平成 22 年 8 月	(白山ろく)機械室前上水道漏水	修理
平成 22 年 11 月	(白山ろく)浄化槽ブローア故障	取替修理

③その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか。	B	・利用者アンケート調査を行い、利用者の声を運営に活かすよう努めている。 ・体験活動プログラムの充実、ホームページの充実など利用促進に努めている。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・施設の修繕等に適切に対応している。 ・施設内は清潔に保たれており、仕様書等に基づき適切な管理がなされている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・適切な職員の配置がなされている。（繁忙期における職員補充など） ・緊急時の対応計画や連絡体制等が定められ、安全対策が適切である。
④その他、必要と認める事項	B	・個人情報保護や宿直業務など、仕様書等に基づき適切な管理運営がなされている。
総合評価	B	・仕様書等に基づき適切な管理運営がなされている。

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を上回っている
- B（良）：仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C（可）：仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っている

○総合評価

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D（不可）：改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

特になし